

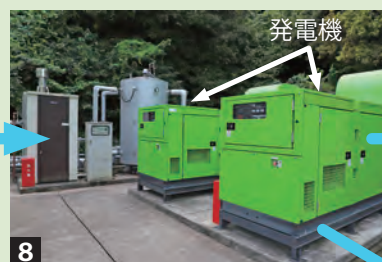
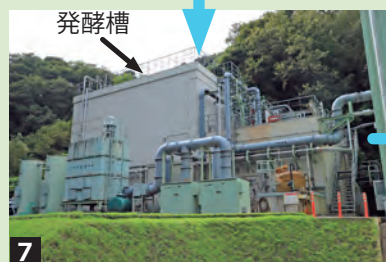
鈴与商事株式会社 菊川バイオガスプラント(西方)



市内のごみ、

私たちが分別した資源
にリサイクルされてい
ここでは、市内で集め
どのようにリサイク
ルみを例に解説します。

※食べ残しや調理くずなど



給食センターなど市内の公共施設や事業所の食堂から出た食品残渣の回収を行っています。**1 2**回収した食べ残しや野菜の皮などの食品残渣を前処理施設に搬入 **3 4**ディスポーザー(生ごみ粉碎機)で食品残渣を細かくする **5**大型トラックからの搬入の様子 **6**配管を通じて隣の建物へ **7**メタン発酵槽でガスを発生させる **8**バイオガス発電機でガスを燃焼させ発電。この時に発生する二酸化炭素と熱も再利用している **9**発電時に発生した二酸化炭素の供給用排ガス浄化装置 **10**発電した電気を送電。年間およそ100万 kWh を発電(一般家庭200世帯分の電力量に相当)



鈴与商事(株)
菊川バイオガス事業所
清水拓己さん

ゼロエミッションの
実現に向けて

当プラントは平成28年度から運転をしています。地球温暖化防止活動の一環として廃棄物の減量、エネルギーの有効利用による「ゼロエミッション」の実現を県や市、地元自治会の皆さんと連携して取り組んでいます。

食品残渣を利用して電気を作るだけではなく、発電で生じた廃熱や二酸化炭素を、隣接するベルファーム(株)のトマト栽培で活用し、ハウスの温度調節や光合成の促進に利用しています。また、発酵後に発生する残渣である消化液を茶畑の肥料として再利用する研究を進めていて、食べ残しのすべてを無駄なく活用し、地球環境にやさしいエネルギー資源の循環を目指しています。